

# 大いちょう

令和6年7月18日  
岐阜市立加納幼稚園  
園長 藤井 佐由美

## 夏祭りの前日祭にお越しくださいますありがとうございました！！

7月12日（金）は、多くの保護者の方が『夏祭りの前日祭』にお越しくださいました。ご多用の中お時間をつくってくださいましてありがとうございました。心より感謝いたします。

子どもたちは、4月から、電車の線路を作る遊びを繰り返していま



した。名鉄とJRの立体交差の高架にこだわっており、高架の材料を考えて試行錯誤しましたが、すぐに倒れてしまってなかなかうまくいきませんでした。そのうち椅子やテーブルなどをうまく組み合わせて、牛乳パックや段ボールなどで、長く線路

をつなげたいと思うようになりました。一方、5月には、空き箱や牛乳パックを使用した電車や車を作ることが始まりました。どうやら、乗り物に興味をもっている子どもが多くいるようだったので、6月になって岐阜駅に出かけることを提案しました。電車に興味がある子どもはもちろんのこと、そうではない子どもたちもみんな、一緒に出かけられることが嬉しくてたまらない様子で、年長児みんなで岐阜駅



まで出かけることになったのです。岐阜駅までの道のりで、大好きな「ミユースカイ」や「パノラマスーパー」、

「快速電車」や「貨物列車」などを間近で見たり、立体交差の高架下で、電車の轟音や風などを感じたりして、ときめきがマックスになっていました。岐阜駅の中には、「ドーナツ屋さん」、「お土産店屋さん」、「ラーメン屋さん」、「切符券売機」や「自動改札」などがあることに気づき、

それぞれが心を動かされていました。最後に見た「自動運転バス（ハートバス）」は、実際にリモートコントローラーを使って自動で、発車する様子をじっくりと観察でき、心が動かされていました。帰りは、たった4分の旅でしたが、岐阜バスにみんなに乗ってきたことが、心に強く残ったようでした。

体験したことで、やりたい思いが深まり、前日祭で見ていただいたようなものを作る日々が始まりま





した。もちろん、失敗の連続でした。自動運転バスでは、タイヤを付けるところを何度も失敗しながら気持ちを立て直し、工夫し創り上げました。立体交差の高架も何度も倒れながら仲間と力を合わせ、今の素材や形になっていきました。お店屋さんの衣装も、切符券売機もそれぞれの子どもたちが、一つ一つ考え工夫し、根気よく創り上げた作品ばかりです。多くの子どもが「より、本物らしくしたい！」という思いを持っていました。だからこそ、根気よく取り組めたのだと思います。

また、一人で頑張ることは難しいけれど、友達と一緒にだったからアイデアを出し合い、最後までやり遂げられたのではないかと思います。子どもたちの笑顔には、充実感や達成感があふれていました。

年長児の担任はもちろんのこと、他職員も一緒になって、子どもたちが取り組みやすいように翌日への準備を毎日手伝い協力を惜しまない日々が続きました。さらに、前日祭にお越しくくださった保護者の方が、子どもたちの話を熱心に聴き、一緒になってその喜びや楽しさを味わってくださったことが、子どもたちの自信を確かなものにしました。もう一つ、前日祭には、加納小学校の校長先生、教頭先生、岐



阜市科学館の先生、それから、年中組の担任だった先生もお越しくださっていました。子どもたちは、こんなにも多くの人たちに愛されているんですね。幸せなことです。加納小学校の校長先生、教頭先生は、「小学校の先生にも見せたい。」とおっしゃってください、12日の放課後、加納小学校の1、2年生の担任の先生4名と教頭先生でじっくりと見学した後、私の説明を質問しながら丁寧に聴いてくださいました。本気で、「幼稚園児でもこんなにも探究ができる

んですね。」とおっしゃってくださいました。16日の夏祭り本番には、年少児や年中児を招待し、おもてなしをしました。同日、岐阜市教育委員会幼児教育課の方が参観にお越しくくださいました。CCNや中日新聞のメディア取材も入りました。17日(水)には、地域のラッコクラブの子どもたち(未就園児)、そして、同日、岐阜市教育委員会教育長さんも、お越しくくださいました。いろいろなところから大注目の加納幼稚園です。16日(火)の『夏祭り』様子は、ホームページに掲載されていますので、ゆっくりとご覧ください。



7月13日(土)には、岐阜聖徳学園大学の教授にお誘いいただき、一般社団法人「未来を拓く



学校づくり研究会」主催の『モーニング情報交流会』において、加納幼稚園の実践を発表させていただきました。オンライン開催だったのですが、ミーティングに参加してくださった方々は全国区で、北海道N町の教育長さん、神奈川県N町教育長さん、北海道中学校校長先生、大阪府H市の小学校教員、沖縄県N市の小学校教員、熊本県の学校教員、愛知県の大学

の～研究所の方、岐阜市教育委員会の方、岐阜市立小学校の校長先生、岐阜市立中学校の教員、大学教授、奈良県の教職大学院の教員、校務支援システムの開発企業の方、などなど教育に精通した方々が熱心に聴いてくださいました。その中で、「幼児でもここまで探究できている。」「子どもの『なんで?』『こ



やったら…』を子どもに委ねているところがよい。」「子どもが夢中になっている姿がうらやましい。」「自分も幼稚園のときにこんな学びをしたかった。」「でも実祭は管理的な幼稚園も多い。『こうあるべき』とか『大人のいうことをちゃんと聞いて従う子どもがいい子という文化がある』、個人が追究していることを仲間と取り組んでいる姿があることが良い。」「幼稚園では先生が学びの伴走車に徹して、園児との温かい信頼関係が失敗してもチャレンジし続ける

ことができる土台を築いていると感じた。子ども会議でしっかり時間をかけて園児の自治的能力を育てつつ、実物とふんだんに触れられる活動の環境・スペースをあれだけ保障してあげられる度量の深さに恐れ入った。」「幼稚園で培われた探究心をいかに15歳までつなげるかが課題。」「小中学校は、幼稚園から学ぶべき。」「チャレンジしようとしている学校も多い。」「小中学校は、探究的な学びの時間と教科カリキュラムの時間をどのように使うべきか。」「探究の本質は幼稚園から高等学校まで同じで、知的好奇心が軸になっている。」「総合的な探究の時間は、自己の在り方・生き方と一体的で、不可分な課題を発見し解決していくこと。」「課題は、内発的であることが重要で、課題解決する過程で、足りないところに気付き、興味を広げるなど、後から自分と結び付けていくもの。」などと様々なご意見をいただくことができました。



これからも、加納幼稚園の子どもたち自慢を発信していけるように頑張っていきたいと思えます。それを日々温かくサポートしてくださっている保護者の方の存在も、本当にありがたく感じており、めちゃくちゃ自慢させていただいております。『夏祭り』のボランティアにお越しくださいました保護者の皆様、ありがとうございました。

1学期間温かいご支援・ご協力をありがとうございました。どうぞ楽しい夏休みをお過ごしいただき、2学期にまた元気な姿を親子そろって見せてください。私たち教職員も夏休みを活用して、それぞれの家族や友達と楽しい体験ができるようにしたいと思います。



## お知らせとお願い

### ◆夏季休業中の預かり保育について

7月22日（月）から、夏季休業中の預かり保育が始まります。

別紙：「夏季休業中預かり保育利用について」の手順や注意事項をよくお読みください。

今年度は、日頃の預かり保育の担当者に加えて、これまでも加納幼稚園で、多大なる支援をしてくださっているハートフルサポーターや3歳児補助の先生方が、夏季休業中の預かり保育を担当してくださいます。その他、預かり保育の登録職員が担当することもあります。日ごと、担当者が代わることで、



ご迷惑をおかけしますが、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

◆9月からの預かり保育について

9月2日（月）は、預かり保育はありません。

9月3日（火）以降の預かり保育の申し込みについては、8月20日（火）までに、幼稚園までご提出ください。（※夏季休業中のところ申し訳ありませんが、利用希望の方は、一律20日までに、ご提出くださいますようお願いいたします。7月中にも受付できます。）

◆7月17日（水）には、年長児が「岐阜市科学館」の「特別展：川と海のワンダーランド」にプレ招待していただき、親子で楽しいひと時を過ごしてきました。送迎をしてくださり、お時間をとってくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。子どもたちは、大喜びでワクワクが止まりませんでしたね。夏休み中にもぜひお出かけくださり、子どもたちの「なんで?」「どうして?」の好奇心を精一杯受け止めてあげてください。よろしくお願いいたします。



◆7月18日（木）本部役員の代表の方と、岐阜市教育委員会教育長訪問に行ってきました。

教育長をはじめ事務局長など、丁寧に対応していただき、市P連として要望を伝えていただきました。和やかな雰囲気の中、心強いお言葉をいただきました。改めて、後日、市P連だよりを通して報告させていただきます。

◆8月19日（月）から、令和7年度新入園児の募集が始まります。どうぞ、ご近所・お知り合いに対象のお子さんがいらっしゃいましたら、お声かけくださるとありがたいです。より多くの方のご入園を心よりお待ちしております。

◆全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会への再入会について、PTA会員の皆様にアンケートをとらせていただいた結果、賛成53名、反対8名となり、賛成が過半数となりましたので、再入会させていただくこととなりました。いろいろな思いをもっておられる方もいらっしゃると思います。もし、お話したいことがありましたら、園長までお声かけください。ご多用の中、アンケートのご協力ありがとうございました。

★1学期間、多くの幼稚園の教育活動に温かいご支援・ご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

